



希少金属代替・削減技術実用化開発助成事業 (概要説明)

独立行政法人 新エネルギー・産業技術開発機構
電子・材料・ナノテクノロジー部

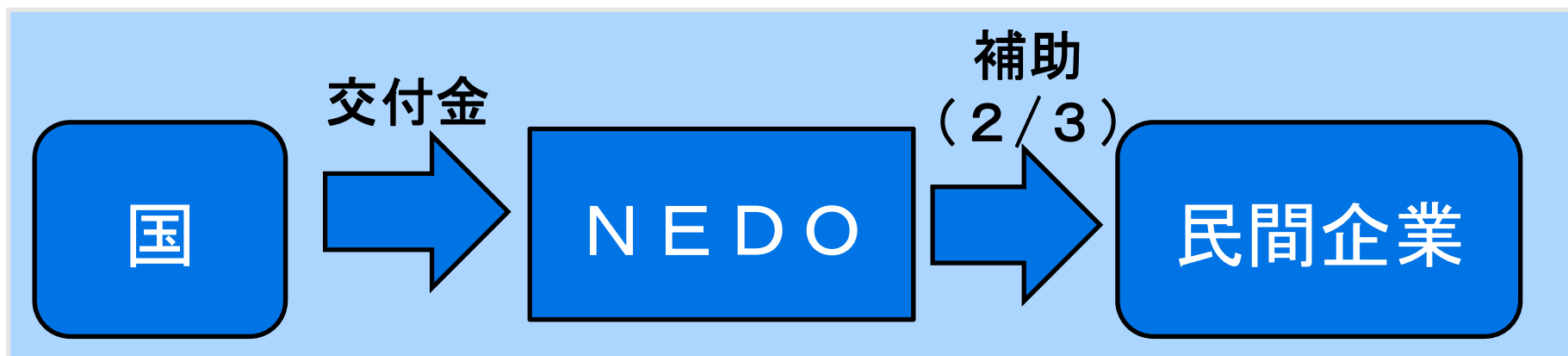
1. 事業の内容



- 希少金属(レアメタル※)は、電気自動車等のモーター用の強力な磁石、デジカメなどの光学レンズ、フラットディスプレイの透明電極などに用いられ、我が国が強みを有する先端企業を支えている。
- 現在、我が国はレアメタルの供給を特定国に依存しており、その調達環境も急速に悪化している。
- このため、レアメタルの輸入量の変化に大きく影響されない産業構造を形成することが急務であることから、レアメタルの使用量を低減する技術や代替材料の実用化を加速する。

※レアメタル・・・レアアース17元素を含む31種類。

○希少金属代替・削減技術実用化への集中支援



2. 事業概要



(1) 事業目的

レアメタル(※)の代替材料技術、使用量削減およびリサイクル等の技術に対し、各企業が独自で取り組んできた技術開発に対し助成を行い、早期の実用化を後押しする。

※レアメタル・・・レアアース17元素を含む31種類。

(2) 研究開発期間

採択決定日(平成23年3月下旬)～

(3) 事業の形態と予算規模

総事業規模 約100億円 (NEDO負担額 約66億円)

(4) 助成額・助成率

1件当たり 30百万円～10億円程度 (NEDO負担額)

助成率 2／3

(5) 採択予定件数

予算に応じ、提案内容の優れているものを採択

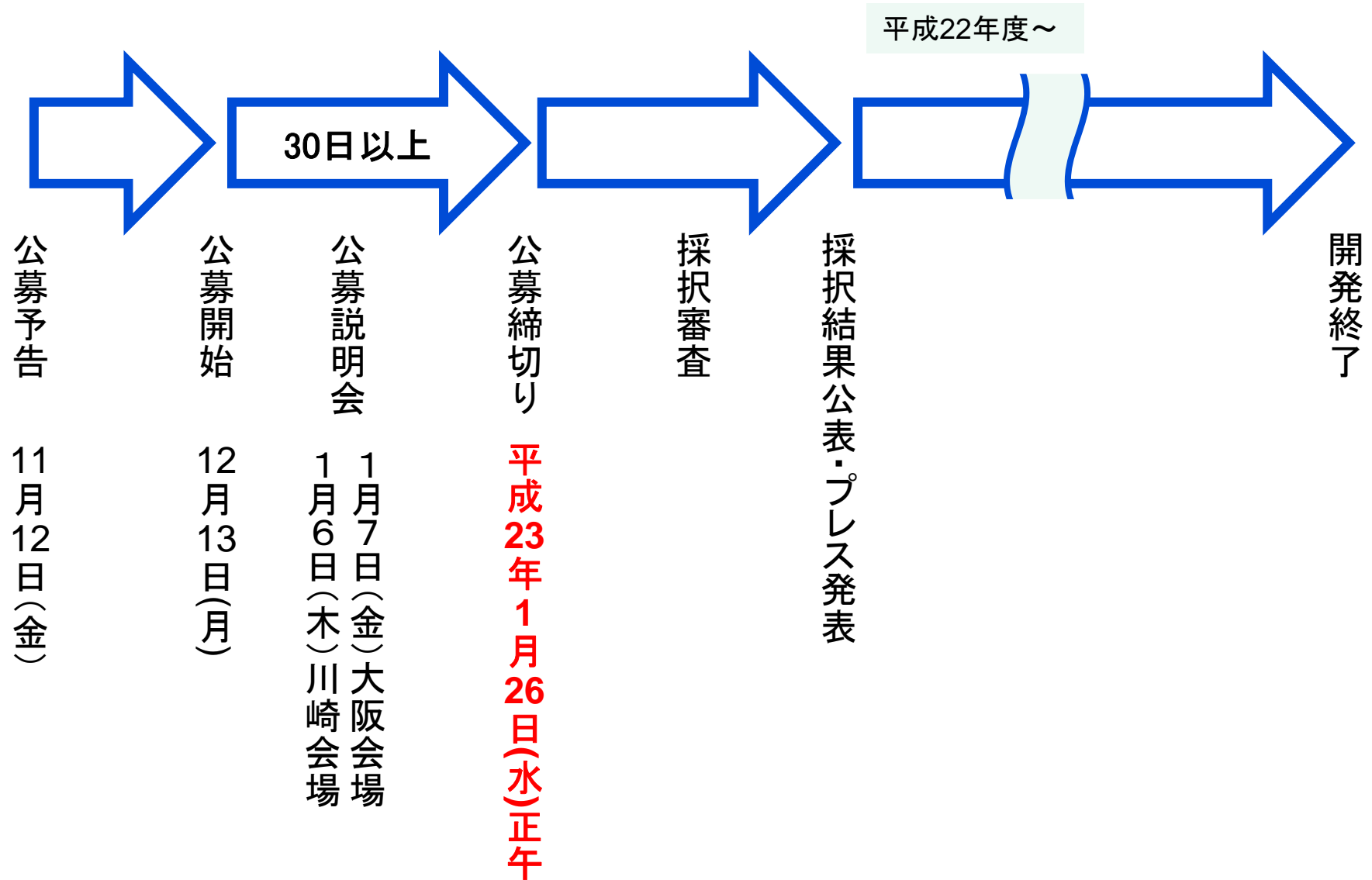
3. 助成対象技術開発テーマ



この助成事業は事業終了後、数年以内に実用化が期待できる以下の技術開発テーマを主な対象とし、助成する。

1. レアメタルを代替する材料の技術開発
2. レアメタルの使用量を削減する技術開発
3. レアメタルをリサイクルする技術開発
4. その他、レアメタルの消費効率化に資する技術開発

4. スケジュール



5. 助成事業に関する補足説明



* 主な制約事項

1) 助成対象費用は直接経費 （除く税金・保険・間接経費）

2) 知財、資産は助成事業者に帰属。

（終了後の「資産買い取り」は不要。ただし、一定期間の処分制限あり。）

3) 終了後5年間の企業化状況報告・収益納付義務あり。

（ただし、納付額算出にあたっては、助成額を上限とし、
助成事業者の追加投資を考慮。）

4) NEDOへの成果報告義務はあり。

（ただし一般への公開は限定的。）

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
電子・材料・ナノテクノロジー部

レアメ助成係

FAX: 044-520-5223

E-mail: rare_metal @ nedo. go. jp

なお、公募要領はNEDOのホームページ
(<http://www.nedo.go.jp/>)にも掲載されています。